

令和 4年 9月 13日

学校関係者評価報告書(対象:令和3年度)

旭川荘厚生専門学院
学校関係者評価委員会
委員長 杉本 尚平

「令和3年度学校自己評価報告書」に対し、学校関係者評価を実施しましたので、概要を下記のとおり報告します

記

1. 実施方法

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による評価を実施した。

2. 学校関係者評価外部委員(以下「外部委員」という。)

ローバル国際こども園 副園長	江田加代子	関連業界関係者
旭川児童院 看護課長	大月 道子	卒業生・関連業界関係者
津島児童学院 副学院長	黒住 卓	卒業生・関連業界関係者
厚生専門学院後援会 会長	岡崎 倫三	保護者代表
県立瀬戸南高等学校 校長	長谷川陽子	高等学校関係者

3. 実施方法及び公表

「令和3年度学校自己評価」を外部委員が確認し、各項目に対する意見と評価を取りまとめた。評価結果は今後の教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かし教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表する。

4. 評価及び意見

評価項目に対する外部委員の評価及び意見、提案は、別添、「書面評価表」のとおり。

非常に適切	10～8
適切	7～6
やや不適切	5～4
不適切	3～1

学校自己評価（3年度実績）に対する書面評価表 ①

1 教育理念・目的

評価項目	自己評価:7.9			外部委員大項目評価	
	平均	旭川	吉井川	江田	9.0
①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	8.6	8.9	7.3	大月	7.0
②学校における職業教育その他の教育指導の特色が明確か	8.2	8.4	7.7	黒住	8.0
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	7.3	7.5	6.3	岡崎	8.0
④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが広く周知されているか	7.2	7.4	6.3	長谷川	9.0
⑤各学科の教育目標、育成人材像は、関係業界のニーズに合致しているか	8.1	8.2	7.7	計	41.0
職員自由記述 ～旭川～ <input type="checkbox"/> 50周年を迎え、社会ニーズを踏まえた学院の存在意義を明確にする。 <input type="checkbox"/> 医療福祉専門職を養成する学校として、ニーズと制約を明確にしなが、誰もが分かりやすい学院の存在意義を打ち出し周知を図る。 <input type="checkbox"/> 旭川荘との連携強化					
関係者評価委員 意見記述欄 少子化の中、大変だと思いますが頑張ってください。(岡崎)					
色々な意味で大変な時代で、変えざるを得ない面はあると思いますが、創立の精神だけは大切にしたい。(江田)					
岡山県は全国的に見ても医療福祉が充実している県であり、医療福祉と言えば「旭川荘」と言っても過言ではないと思います。そのくらい、歴史と伝統がある総合医療福祉施設の中にある専門学校として、学校の理念・目的をしっかり教職員の方が理解し、医療福祉専門職の養成という結果を出されていることは高く評価できると思います。③、④の評価がやや低くなっていますが、「将来構想」「広く周知」と言う部分については、今後益々予測困難な時代となり、急激な少子高齢化が進む中での貴校の存在意義をどう周知していくのが重要だと思います。(長谷川)					

2 学校運営

評価項目	自己評価:7.5			外部委員大項目評価	
	平均	旭川	吉井川	江田	8.8
①目的等に沿った運営方針が策定されているか	7.7	7.5	9.0	大月	7.0
②運営方針に沿った事業計画が策定されているか	7.6	7.4	9.0	黒住	8.0
③運営組織や意思決定機能は規則等で明確化され、有効に機能しているか	7.3	7.1	9.0	岡崎	8.0
④人事、給与に関する規程等は整備されているか	8.0	7.9	9.0	長谷川	9.0
⑤教務・財務等の組織など意思決定システムは整備されているか	7.7	7.5	9.0	計	40.8
⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	7.8	7.6	9.0		
⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	7.7	7.5	8.5		
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	6.4	6.1	8.5		
職員自由記述 ～旭川～ <input type="checkbox"/> 学院の規模での導入賛否は別にして、便利なシステムやアプリがあるので導入すれば効率的だと思う。 <input type="checkbox"/> 5号館(児童棟)にWi-Fi環境を整備し、教育環境の向上を図る。					
関係者評価委員 意見記述欄 学校職員が一致して仲良く、楽しく教育に当たってください。(岡崎)					
コロナ禍で運営及び活動が制限される中で、様々な工夫をしながら進めてきた様子が伺えました。情報公開をもう少し積極的に行い、学院の良い面をアピールすべきと思います。(江田)					
情報システム化による業務の効率化の評価が低くなっていますが、業務の効率化により教職員が学生と向き合う時間が確保でき、学生の教育環境が向上するよう、できることから整備を進めていく必要があると思います。(長谷川)					

学校自己評価（3年度実績）に対する書面評価整理表 ②

3 教育活動

評価項目	自己評価:7.5			外部委員大項目評価	
	平均	旭川	吉井川		
①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	8.3	8.4	7.7	江田	8.8
②教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育目標や学習時間の確保	7.8	8.0	7.0	大月	7.0
③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	8.0	8.2	7.2	黒住	8.0
④キャリア教育・実践教育の視点に立つカリキュラムや教育方法の工夫・開発	7.6	7.8	6.5	岡崎	8.0
⑤業界団体・関係施設等との連携によるカリキュラム作成・見直しの実施	7.7	8.0	6.2	長谷川	9.0
⑥関連分野における実践的職業教育が体系的に位置づけられているか	8.0	8.1	7.3	計	40.8
⑦授業評価の実施・評価体制はあるか	6.8	6.8	6.8		
⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	6.8	6.8	6.5		
⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	8.0	8.3	6.8		
⑩資格取得等に関する指導体制やカリキュラムの体系的な位置づけはあるか	8.2	8.2	8.0		
⑪人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか	7.4	7.4	7.2		
⑫関連分野と連携し、優れた教員確保等のマネジメントが行われているか	6.8	6.9	6.5		
⑬先端的知識・技能等の修得や教員の資質向上の取組が行われているか	6.9	6.9	6.5		
⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか	6.9	7.1	6.0		

職員 ～旭川～

■質・量ともに人材不足。今年度はコロナ対応が優先され、教育活動が十分にできなかった。

■日々の業務に追われ、授業後の振り返りが丁寧にできにくい現状がある。

□具体的に人員問題に伴う運営体制の工夫、評価を反映させる工夫など計画的に振り返る機会をつくる。

□看護は新カリキュラムスタートに伴い、外部への発信機会を増やす。

□専門分野の新しい知識を身に付けることは重要で、そのために専門分野の研修が必要。

□学生の学力・質に応じた講義の工夫と理解させる能力を備えた人材育成が重要。今の学生に対応できる教員の質の確保。

□実践的な学びが多く、即戦力となれるところが専門学校の良いところ。最近はそのができない学生も多い。

□授業で少しずつできることを増やし、皆で議論できる関係づくりが教員も学生も必要。

□教員の質の向上のため実施した「学生指導の在り方」についての学内研修は有益だった。

～吉井川～

□教育方針、目標に沿ったカリキュラムの体系的な位置づけを再検証し、より効果の高い教育活動を目指す必要がある。

□実習と開講科目との関連付けや各科目の内容を再検証し、必要に応じ改訂する、学外講師との連携。授業評価の実施。

■行事が実施できていない。新しい発想で行事を開催する。全校での実施が無理であれば視点を切り替える。

□コロナへの警戒ばかりで、学生時代に経験すべきことが全くできていない。Withコロナの視点を学ぶ上でも行事は大切。

■教員の能力開発への意識が低い→研修への参加

■コロナ禍でカリキュラム変更や授業内容の修正が多く、体系的な授業が難しかった。

関係者評価委員 意見記述欄

雑務が増えて大変だと思います。時間を大切に効率的な教育活動になるよう努力してください。(岡崎)

色々な意味で指導が難しい学生が増えているように思います。そういった学生に対しても就職してから困らないよう専門職としての知識・技術が身につくよう丁寧に指導を行っていただけることは、学生にとって幸せなことだと思います。

授業については専任教員だけでは指導が難しい場合があると思うので、各分野の専門の先生方をお願いすることも必要だと思います。

厚生専門学院の学生の自慢できる場所は、実践力があることですが、最近はアルバイトやボランティア活動をしない学生が増えていると言うことで、実践力を身に付ける場所がないと聞いています。現場で働くようになると実践力はとても大切です。

そのためには、ボランティア活動をすることはとても大切だと思います。そういった授業を単位化することはできないでしょうか。

最初は嫌々していても、そのうち楽しさを感じたり、やりがいを感じる学生も出てくるのではないのでしょうか。(江田)

いただいた資料から、新型コロナウイルス感染症の影響で、カリキュラム変更や行事の中止などを強いられ、体系的な授業の実施、学生の学校生活での貴重な体験の機会を奪ってしまうといった影響が出ていることがわかりました。

令和4年度はコロナ禍も3年目となり、「コロナだからできない」ではなく、授業も行事もWithコロナの状況で、できることは何か、知恵を絞る、工夫することが大切だと思います。学校行事は、ぜひ学生主体で新たな視点や発想でチャレンジを！(長谷川)

学校自己評価（3年度実績）に対する書面評価表 ③

4 教育成果

評価項目	自己評価:7.6			外部委員大項目評価	
	平均	旭川	吉井川		
①就職率の向上が図られているか	8.7	8.7	8.8	江田	9.0
②資格取得率の向上が図られているか	8.4	8.5	7.8	大月	7.0
③退学率の低減が図られているか	7.3	7.0	8.8	黒住	8.0
④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	7.1	6.9	8.2	岡崎	8.0
⑤卒業後のキャリア形成効果を把握し、学校の教育活動に活用されているか	6.7	6.7	6.8	長谷川	9.0
				計	41.0
職員自由記述	<p>～旭川～</p> <ul style="list-style-type: none"> ■コロナ対応に時間を取られ、本来の学生指導や卒業生との交流等が十分にできなかった。 ■卒業後の様子が不明→アンケート調査(郵送)を実施してはどうか。 □卒業生との連携を継続できる仕組みが必要 □卒業後のサポート体制を整え、就職先と連携した支援の在り方を検討する。→旭川荘への資格を活かした就職 □LINEやインスタグラムなどで繋がりを維持し、卒業生が在校生を指導する場面(経験を語れる場)を作れると良い。 □退学は自分の進路を明確にできたという側面もあり、必ずしも学校の評価と一致するものではない。 ■就職はできるが希望する病院へ就職できる人が減っている。目的意識の維持ややり遂げる力が弱い学生のサポートが課題 →専門職業人を目指す意識を常に刺激する戦略を立てる。 ■意欲のある学生、無い学生と様々であり、成長に差がある。 □厳しくしても学生はついてこない。明確な指示や見通し、目標が必要。 ■年々支援の必要な学生が増加する中、教員のキャパオーバーを感じる。 →各学科に学生支援教員(勤務形態?)を配置するなどの工夫が必要。 <p>～吉井川～</p> <ul style="list-style-type: none"> ■2年生の国家試験対策について、100%合格の実現に向け個別指導を強化しているが、学習到達度の差が大きく、個に応じた指導を行うには人材不足。→成績低迷者や外国人留学生への指導の工夫。指導時間及び指導者の確保 				
関係者評価委員 意見記述欄	<p>若い人の考え方も変化しているので、学生一人ひとりの個性に応じた教育が必要だと思います。(岡崎)</p> <hr/> <p>現在の学生の状況の中で国家試験の合格率が全国平均を上回っている結果は、各科の先生方の努力の賜であると思います。看護学科の退学者や休学者が多いのが気になりますが、医療現場の厳しさに対応できる学生を育てるプログラムについていけない学生もいると思われるので、致し方ないと思う。就職率は高いように思う。職員も学生も前向きに努力してきた様子が伺えます。先輩方の姿を通して旭川荘厚生専門学院を評価してくれている結果だと思う。(江田)</p> <hr/> <p>吉井川キャンパスでの学生への個別相談、退学者0、外国人留学生への教育についての記載から、学生一人ひとりの状況に応じてきめ細やかな対応がされていることが伺えました。コロナ対策に追われ、本来学生と向き合う時間が奪われていたり、学生の個々の資質や能力差に対応する個に応じた指導を行うための人材確保が課題であることがわかりました。指導時間の確保については、業務の効率化の問題とも大きく関わっているのではないかと思います。その中でも、就職率の向上等、一定の教育効果を上げられていることが伺えます。(長谷川)</p>				

学校自己評価（3年度実績）に対する書面評価表 ④

5 学生支援

評価項目	自己評価:7.4			外部委員大項目評価	
	平均	旭川	吉井川		
②学生相談に関する体制は整備されているか	8.0	8.1	7.5	江田	8.5
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	7.7	7.6	8.3	大月	7.0
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	8.0	8.1	7.7	黒住	7.0
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	6.3	6.4	6.0	岡崎	8.0
⑥学生の生活環境への支援は行われているか	6.9	6.9	7.3	長谷川	8.0
⑦保護者と適切に連携しているか	7.9	8.0	7.5	計	38.5
⑧卒業生への支援体制はあるか	7.0	7.1	6.3		
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	6.9	6.9	6.8		
⑩高等専修学校等との連携によるキャリア職業教育の取組を行っているか	7.0	7.0	6.7		

職員事由記述	～旭川～
	<ul style="list-style-type: none"> ■就職指導のための十分な時間をとれない。(特に面接指導) ■学生への進学、就職相談はしているが、人数が多く丁寧な指導ができていない。卒業生とのつながりが課題。 →就職、進学対策の強化。卒業生のホームカミングデーなどの体制づくり。 □経済的支援の具体的明確な基準(具体的?)が必要。必要な学生に本来の支援ができていないか確認が必要。 ■様々な課題を抱える学生が多いので、支援が必要だが平等は難しい <ul style="list-style-type: none"> ・個々に対応するのは難しいが、丁寧に関わりたい。職員の連携が重要。 ・学力低下により昔のやり方は通用しない。新しくアイデアを出す方が良いと考える。 ■学生数は少ないが支援が必要な学生が多い中、教員はよく頑張っていると思うが、キャパオーバーで残業しなければ授業準備が大変な人もいます。→必要な人員確保 □精神面、発達面で問題を抱えるケースに個別対応しているが、クラス全体のバランスが難しい。クラスの状態や状況を継続的に把握し早期の対応を検討する。
職員事由記述	～吉井川～
	<ul style="list-style-type: none"> ■経済的支援について、岡山県の修学資金の採用率が低かった。 □学生の多様性に応じた細やかな相談体制が重要。 ■コロナ禍で学生が楽しめる行事ができていない。 →学生の状況に合わせたサポート、関係機関との連携。学生が楽しめる活動、行事の工夫。

関係者評価委員 意見記述欄
<p>個性あふれる学生の対応に苦勞されている様子が覗えます。健康第一で頑張ってください。(岡崎)</p> <p>-----</p> <p>進路、就職に関する支援は良くされていると思いますが、看護については人数が多いこともあって中々難しいと思います。児童は、能力面で厳しい学生もいるようで、その点については本人に見合った仕事に対しての支援を行ったことで全員就職できたと考えられる。全員が就職できたことは保護者にとっても喜ばしいことだと思う。卒業後については、十分な支援体制ができていないと思われるので、常に相談できる相談窓口があれば卒業生も安心できると思うので検討していただきたい。(江田)</p> <p>-----</p> <p>先生方が一生懸命、学生一人ひとりに向き合おうとされていることが、記述から伝わってきました。「課外活動に対する支援体制」の評価が低くなっていますが、書面だけでは何を指しているのか読み取れないのですが、学生がどのような支援を求めているのかを把握し、できることからやってみるのが良いと思いました。(長谷川)</p>

学校自己評価（3年度実績）に対する書面評価表 ⑤

6 教育環境				外部委員大項目評価	
評価項目	自己評価:6.6			江田	6.5
	平均	旭川	吉井川	大月	6.0
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	6.0	5.8	7.3	黒住	7.0
②実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な体制整備	6.9	6.8	7.4	岡崎	7.0
③防災体制は整備されているか	7.0	7.0	7.0	長谷川	7.0
職員自由記述				計	33.5
<p>～旭川～</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 設備を新しくすべき。 ■ 人数に見合う教室の整備、感染対策をすると教室が不足するし、寒い。→施設・設備は工夫するしかないか。 ■ 建物が古く、汚く見える。以前から学生にワックスがけをさせるのはどうかと思っていた。業者を入れるべき。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生に大掃除までしてもらうことに疑問。 ・高校生はオープンキャンパスで施設も見ているので、環境は大切。 ■ 設備が古くプロジェクトの使用ができない。トイレの手洗いが詰まりやすい(5号館)。 <ul style="list-style-type: none"> ・少しでも清潔感のある学科となるよう工夫したい。 ・5号館で利用できる学生用のパソコン、プリンターが1台有ればより環境が整う。 <p>～吉井川～</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学生食堂がないことに加え、パンの移動販売もなくなったので、代替が必要。 ■ 防災体制について、学校の備蓄が不十分→防災備蓄の整備 ■ 学内演習で使用するベッドが手動。施設に配備されている電動ベッドの機能が習得できない。現場に手動ベッドはない。 ■ 学習環境の改善が必要。時代に即した機器に切り替えなければ習ったことが現場で活かされない。 					
<p>関係者評価委員 意見記述欄</p> <p>校舎改築は簡単にはできませんが、外見で来る学生も少なからずいると思うので、大変ですね。(岡崎)</p> <p>学習環境の整備は、社会福祉法人の支援で新しくする必要があると思っている。(大月)</p> <p>教育環境は、経営的なことを考えると難しいとは思いますが、良いとは言えません。新設できれば一番良いのですが・・・食堂とか学生がリラックスできるような場だけでも新しくなれば違ってくるかも？(江田)</p> <p>旭川キャンパスは、施設・設備の老朽化が課題であることがわかりました。私自身貴校に行ったことがないので、実際にはわかりませんが、ICT機器の整備やネット環境に関しては、できることから早急に進める必要があると思います。実習設備についても予算との兼ね合いがあると思いますが、実技習得に影響するところから改善を進める必要があると思いました。高校生は、オープンキャンパスで教育内容はもちろんですが、施設・設備がいかにか充実しているか、キャンパスライフが楽しく過ごせそうかということも自分の目で確かめ、時にはそのことが進路先の決定に影響する場合もあるようです。(長谷川)</p>					

学校自己評価（3年度実績）に対する書面評価表 ⑥

7 学生募集

評価項目	自己評価:8.1			外部委員大項目評価	
	平均	旭川	吉井川	江田	大月
①学生募集活動は、適正に行われているか	8.3	8.3	8.2	黒住	8.0
②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	7.7	7.8	7.6	岡崎	8.0
③学納金は妥当なものとなっているか	8.2	8.3	8.0	長谷川	9.0
職員自由記述	～旭川・吉井川共通～ <input type="checkbox"/> オープンキャンパスは、毎週金曜日の放課後オンライン相談会、日曜日開催、社会人対象の開催等工夫して実施できた。 <input type="checkbox"/> 新設の「幼稚園教諭2種免許奨学金」について精力的に広報を実施し、児童福祉学科入学生の増加につながった。 <input type="checkbox"/> コロナ禍での広報活動の見直し ・県内への集中的広報。県外訪問校の精選等広報活動の見直し。 <input checked="" type="checkbox"/> 校舎の整備、旭川キャンパスでの家賃補助。愛媛地区での奨学金等の検討が必要。 ・旭川キャンパス家賃補助。特に男子学生への補助新設等。			計	40.5
関係者評価委員 意見記述欄					
色々工夫して学生を集めていることに感謝しています。(岡崎)					
建物が古い、交通の便が悪いなど学院の条件が余り良くないので、なかなか難しいとは思いますが、教員の指導面では良いところがたくさんあるので、その良さをもっと全面的に出すことができれば(学院の魅力)学生が増えるのではないのでしょうか。(江田)					
コロナ禍にもかかわらず学生募集については、工夫をされて取り組まれたことが一定の学生確保につながり、努力されたことがわかりました。次年度に向けても、R3に挙げられた意見を基に、入試科目の変更、推薦入試の回数増など、戦略的に取り組まれるということを2023入試のチラシで知り、素晴らしいと思いました。貴校でしか学べない(経験できない)、貴校だからこそ学べる(経験できる)なにか売りになる特色(魅力)が全面的にアピールできるといいですね。吉井川キャンパスは外国人留学生がいるので、グローバルな視点での学びや取組につながれると良いのではないかと思います。(長谷川)					

8 財務

評価項目	自己評価:6.9			外部委員大項目評価	
	平均	旭川	吉井川	江田	大月
①中長期的に学校の財政基盤は安定しているか	5.5	5.4	6.0	黒住	7.0
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	6.9	7.1	6.3	岡崎	7.0
③財務について会計監査が適正に行われているか	7.6	7.8	7.0	長谷川	7.0
④財務情報公開の体制整備はできているか	7.5	7.7	7.0	計	35.0
職員自由記述	～旭川～ ■入学生が年々少なくなっている。定員充足率。				
関係者評価委員 意見記述欄					
学生が少ないと、財政的にも不安定となるので、ITなども活用して、発信することも必要。(岡崎)					
収入については上向きと言うことで少し安心しました。支出についても努力されているように思います。(江田)					
財務は外部の者にはわかりにくいところですが、②～④が適正に行われていることはもちろん、①についてはベースとして、学生募集でまずは定員を満たすこと、そのためにはどう戦略的に取り組んでいくかということも関わるところでしょうか。(長谷川)					

9 法令遵守

評価項目	自己評価:7.8			外部委員大項目評価	
	平均	旭川	吉井川	江田	大月
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	8.3	8.3	8.3	黒住	8.0
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	8.2	8.2	8.3	岡崎	9.0
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	6.9	6.7	7.7	長谷川	9.0
④自己評価結果を公表しているか	7.9	7.9	8.0	計	43.0
職員自由記述	記載なし				
関係者評価委員 意見記述欄					
努力していると思います。(岡崎)					
法令遵守と運営は適正にされていると思います。自己評価の問題点改善は、今後努力が必要と考えられます。(江田)					
法令遵守も外部の者にはわかりにくいところですが、①～④について、きちんと行われていることはもちろん、③については問題点の改善を緊急性の高いもの、危険が伴うものを優先的にできるところから取り組まれたら良いのではないかと思います。(長谷川)					

学校自己評価（3年度実績）に対する書面評価表 ⑦

10 社会貢献

評価項目	自己評価:7.7			外部委員大項目評価	
	平均	旭川	吉井川	江田	大月
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	7.6	7.8	6.0	8.0	7.8
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	8.1	8.4	6.0	7.0	
③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	7.4	7.3	8.5	黒住	7.0
職員自由記述	～旭川～ ■コロナ禍の現状ではボランティアの奨励は無理。 ■看護は社会貢献、地域貢献が少ない。→新カリキュラムスタートからは改善できるか。			岡崎	8.0
関係者評価委員意見記述欄	計 39.0				
<p>報道機関を利用して、テレビに出るような活動をして欲しい。(岡崎)</p> <p>令和3年度はコロナの関係で難しかったと思います。コロナが落ち着いたら、新たに色々考えて地域に喜ばれるような内容を考えて実践していただきたいと思います。今までどおりでなく、時代に合った内容を考えて実践して欲しいと思います。(江田)</p> <p>児童福祉学科、介護福祉学科では様々な社会貢献や受託研修等を行っていることがわかりました。瀬戸南高校でも介護職員初任者研修で3名の先生に大変お世話になり、感謝申し上げます。将来、介護福祉士を目指す生徒の中には、先生方に直接教えていただきたいということで、貴校への進学を希望する生徒がいます。ボランティアについては、Withコロナの状況の中で、できることから少しずつ取り組まれたら良いのではないかと思います。(長谷川)</p>					

11 旭川荘との連携

評価項目	自己評価:7.2			外部委員大項目評価	
	平均	旭川	吉井川	江田	大月
①行事等においてお互い協力できたか	6.7	6.8	6.4	8.0	7.6
②旭川荘と連携した教育活動ができたか	8.0	8.2	7.1	7.0	
③人事交流を行っているか	7.3	7.3	7.1	黒住	7.0
④旭川荘への就職希望者はいるか	6.8	6.5	8.0	岡崎	8.0
職員自由記述	～旭川～ ■コロナ禍で旭川荘行事及び来賓を招待しての学内行事等が実施できなかった。 ・コロナ禍でやむを得ない面もあるが、状況にあわせ検討していく。 □ボランティアはコロナ禍で少ないが、あれば参加したい。 ■児童福祉学科の旭川荘就職希望者がいない。 ・就職直後は児童分野、知的分野に配置してもらえる枠組みでの募集を社会福祉法人に要請してはどうか。 □旭川荘の職員確保に貢献できる体制をつくってほしい。希望する学生はいるが、資格を活かせない配属では年々希望する学生は減ってくる。 □旭川荘の実習では丁寧を受け入れていただき、学生の特性も考慮してもらおうなど感謝しているが、就職につながらない。 □2年生へ個別の声掛けをするが、「児童の学生なので就職先が乳児院となる確約が欲しい」との意見もある。 □コロナが終息し、以前のように学生がボランティアを通じて利用者と関われる機会が持てるようになるとよい。 ～吉井川～ □コロナ禍で旭川荘の行事が中止となりボランティアの経験をするのが困難。 ・ボランティアに関する意識付けの工夫。可能な活動を模索し機会を設ける。 □旭川荘の実習受入基準が厳しい。 ■コロナの影響で卒業までに実習や行事ボランティア等に参加できないことが多かった。福祉を担う専門職となるための大事な経験の場が減っているのが残念。			長谷川	8.0
関係者評価委員意見記述欄	計 38.0				
<p>コロナもそろそろ落ち着くと思うので、様々な活動に頑張ってください。(岡崎)</p> <p>旭川荘への就職希望者が少ないのは希望先を選択できないことが大きな理由だと思います。このことは難しい問題で、これからの旭川荘の課題だと思います。施設長以上の方たちが現場の実情をしっかりと見て、どこに問題があるか真剣に考え対策を立て働きやすい旭川荘にしていきたいです。(江田)</p> <p>「旭川荘」というのは医療福祉の分野では、大きなブランドです。その中にある学校として、①～④の連携を行い、そのメリットを最大限活かし、学生に還元できるように(例えば、就職を希望の配置にもらえるなど)するとともに、その特色(魅力、メリット)を積極的に外部に発信していくことが大切だと思います。(長谷川)</p>					

関係者評価委員 本学に対する意見・提案自由記述欄

長期化する新型コロナウイルス感染症への対応に追われながらも、できることとできないことを整理しながら努力されている様子が視えました。ポジティブな評価については、コロナ禍という環境下であっても、できることや新しい取組についての記載がありました。柔軟なアイデアをうまく活用できる組織体制が大切であると感じます。

逆に、ネガティブな評価については、昨年度と大きく変わらず、人員問題や業務に関する事、あるいは設備の老朽化についての記載が多く見受けられました。また多様化する学生への対応に苦慮されている様子も強く伺えました。

これらについては、各問題単体への対応だけで解決することは難しいと考え、学院全体での検討と中長期的な計画を基にアプローチしていくことが必要と考えられます。学生減という根本的な問題へのアプローチについては、社会福祉法人旭川荘とも協働しながら考えていくことができればと思います。〔黒住 卓〕

経営が厳しく、また、大変な学生が多い中、職員の皆様は本当によく頑張っておられると思います。

学生には良い先生との出会いができるような機会を作ってあげていただきたいと思います。

これからも、旭川荘厚生専門学院に入学して良かったと思える学院にしていきたいと思います。（江田）

いつも大変お世話になっております。安井前校長の後任として4月に着任した長谷川と申します。

51年の歴史と伝統を誇る貴校に、毎年生徒が進学させていただき、ありがとうございます。

また、介護福祉学科長の小淵先生をはじめ、中西先生、石川先生には、本校の介護職員初任者研修の講師としてお力添えいただき、感謝申し上げます。

今回、書面開催ということで、いただいた資料とホームページ、学校案内パンフレットを参考に評価させていただきました。記述のところには、的外れな部分があるかもしれませんが、お許しください。（長谷川）